

練馬区内の農地所有者に対する意向調査結果 【生産緑地所有者版】

○調査概要

調査時期：平成30年 7月31日から平成30年11月30日まで

生産緑地所有者：490世帯

回収数：358世帯

回収率：73.1%

○調査結果 目次

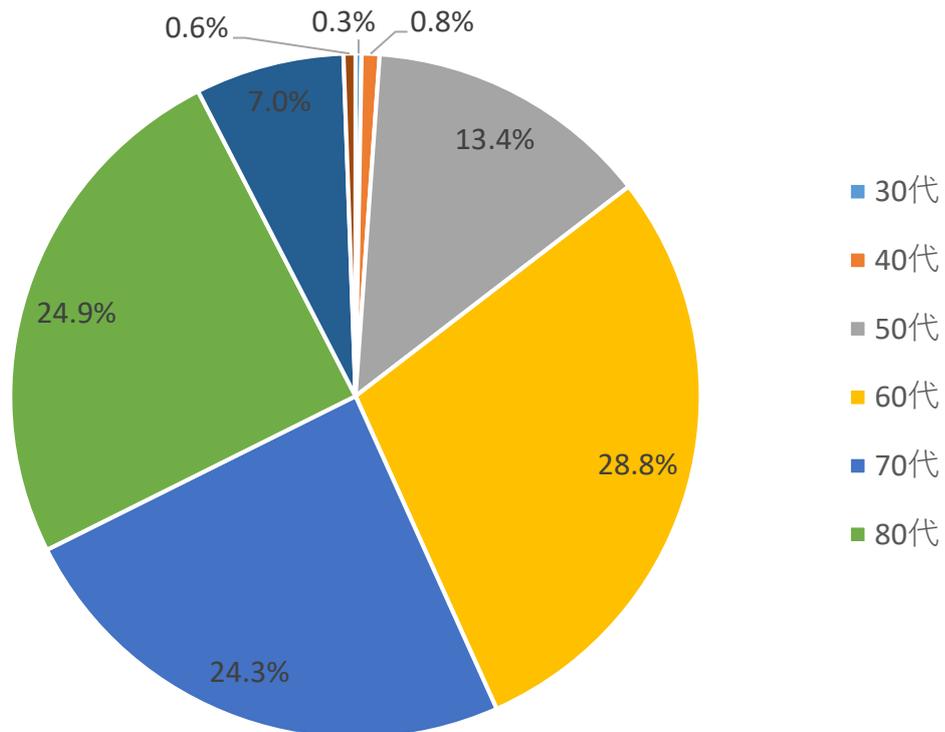
1 回答者自身の状況	・・・ 1
2 農業経営における後継者の有無	・・・ 6
3 今後の農業経営	・・・ 9
4 平成4年の指定から30年経過する生産緑地	・・・ 14
5 宅地化農地	・・・ 16
6 宅地の農地化	・・・ 18

※各割合の合計は、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

1 回答者自身の状況

(1) 年齢

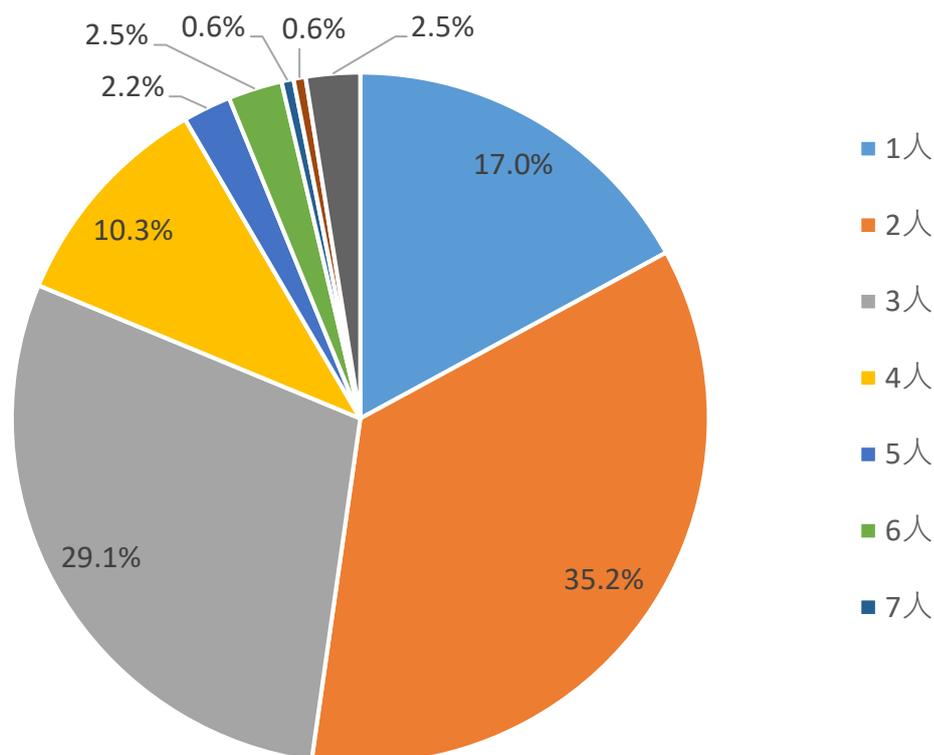
年齢	回答(件)	割合(%)
30代	1	0.3%
40代	3	0.8%
50代	48	13.4%
60代	103	28.8%
70代	87	24.3%
80代	89	24.9%
90代	25	7.0%
未回答	2	0.6%
合計	358	



回答者の年齢は、60代が最も多く103件(28.8%)、次いで80代が89件(24.9%)、70代が87件(24.3%)であった。回答者の年齢は60代以上が85%であり、60代未満は少ない。

(2) 従事者の状況①（家族） ※回答者含めた人数

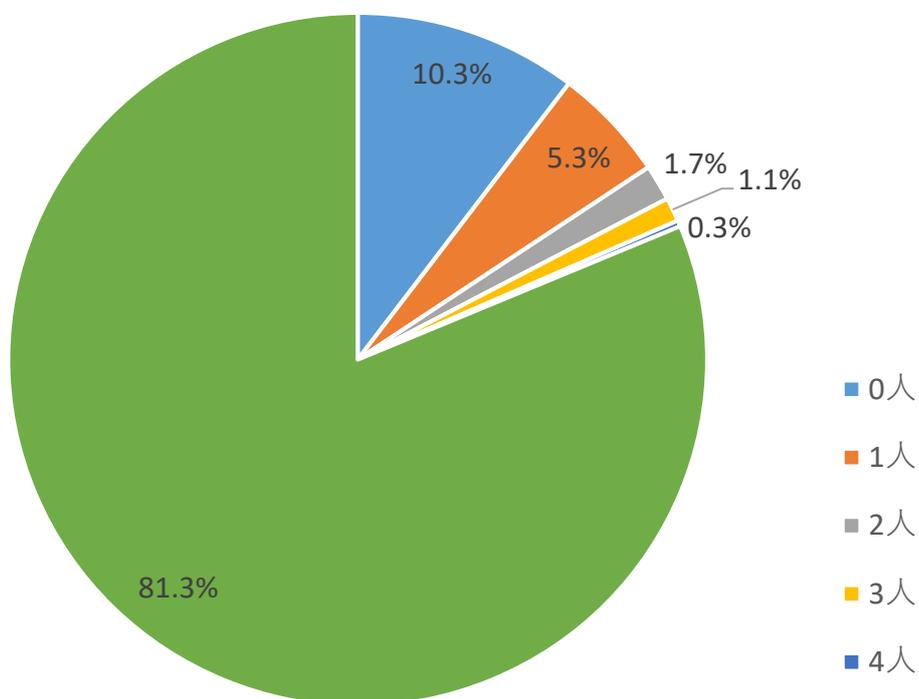
人数	回答(件)	割合(%)
1人	61	17.0%
2人	126	35.2%
3人	104	29.1%
4人	37	10.3%
5人	8	2.2%
6人	9	2.5%
7人	2	0.6%
8人	2	0.6%
未回答	9	2.5%
合計	358	



家族の従事者数は、2人が最多の126件(35.2%)であり、次いで3人が104件(29.1%)、1人が61件(17.0%)であった。

(2) 従事者の状況②（雇用）

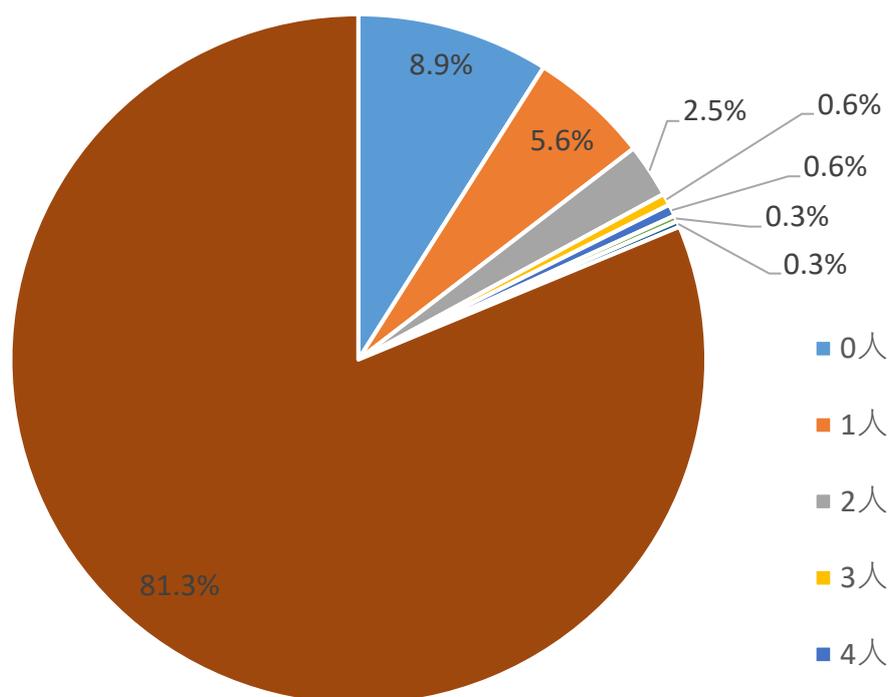
人数	回答(件)	割合(%)
0人	37	10.3%
1人	19	5.3%
2人	6	1.7%
3人	4	1.1%
4人	1	0.3%
未回答	291	81.3%
合計	358	



雇用による従事者数は、0人が最多の37件(10.3%)であり、次いで1人が19件(5.3%)、2人が6件(1.7%)であった。練馬区の生産緑地において、従事者を雇用している農業者は10%に満たない。

(2) 従事者の状況③ (ボランティア)

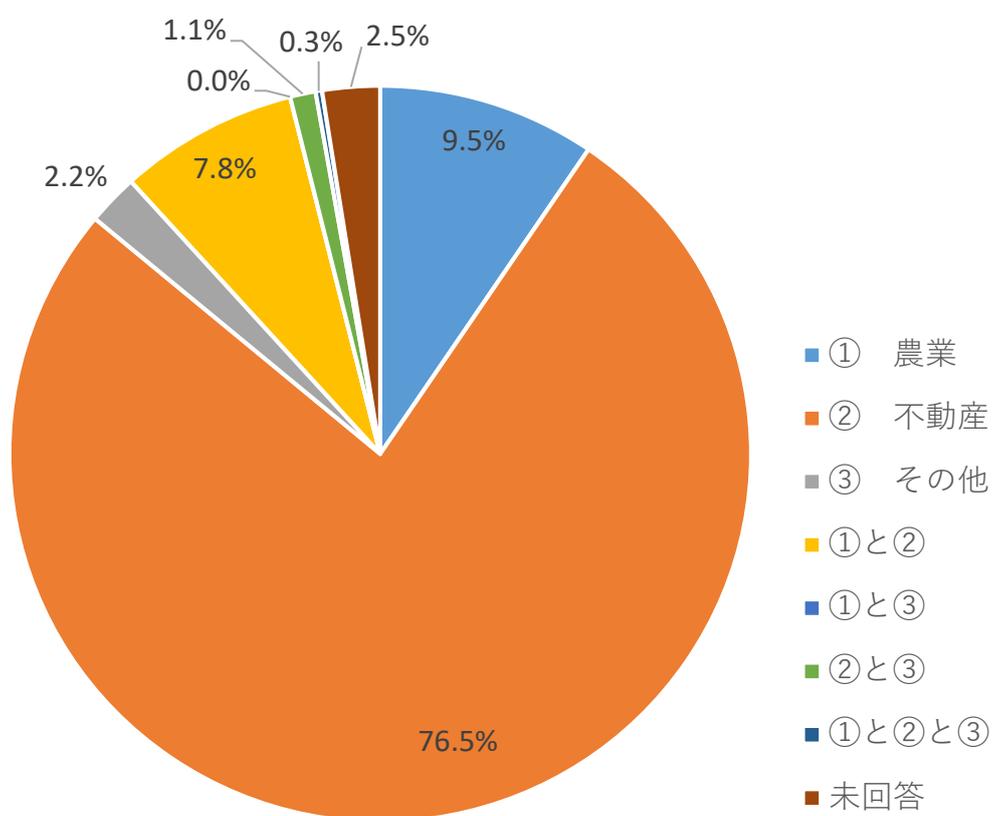
人数	回答(件)	割合(%)
0人	32	8.9%
1人	20	5.6%
2人	9	2.5%
3人	2	0.6%
4人	2	0.6%
5人	1	0.3%
17人	1	0.3%
未回答	291	81.3%
合計	358	



ボランティアによる従事者数は、0人が最多の32件(8.9%)であり、次いで1人が20件(5.6%)、2人が9件(2.5%)であった。練馬区の生産緑地において、ボランティアを活用している農業者は10%に満たない。

(3) 主たる収入

主たる収入	回答(件)	割合(%)
① 農業	34	9.5%
② 不動産	274	76.5%
③ その他	8	2.2%
①と②	28	7.8%
①と③	0	0.0%
②と③	4	1.1%
①と②と③	1	0.3%
未回答	9	2.5%
合計	358	



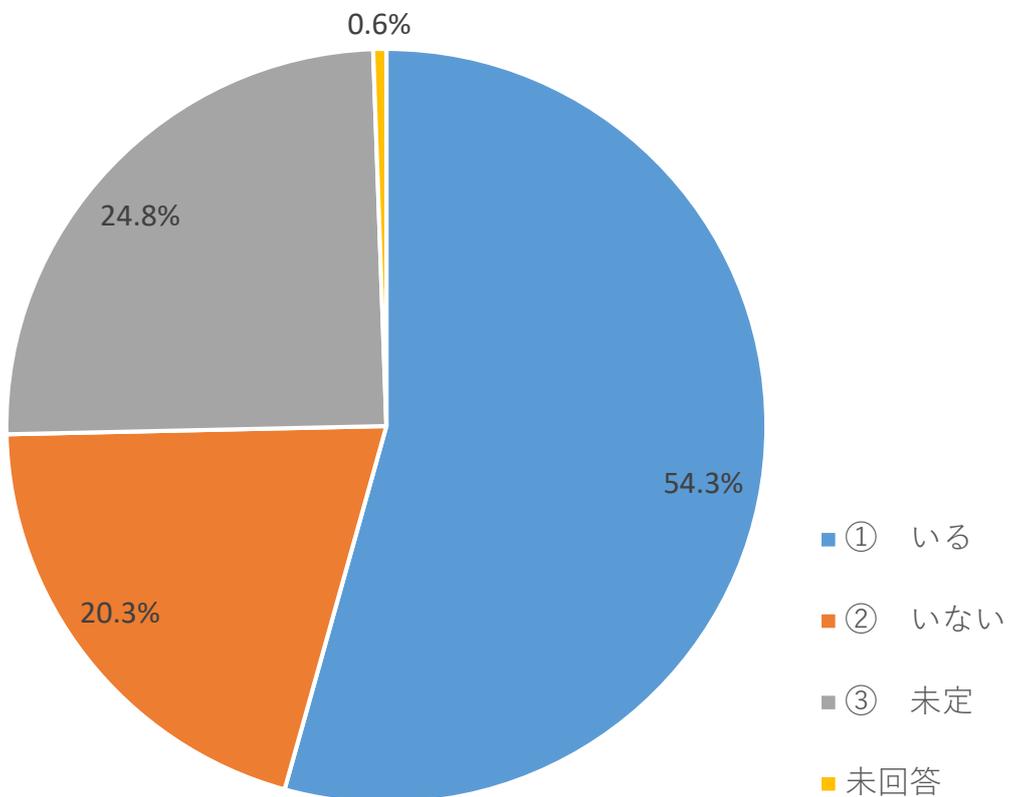
主たる収入は、「不動産」とした農業者が274件（76.5%）で最多であった。「農業」は34件（9.5%）で、主たる収入は農業以外が大半である。

2 農業経営における後継者の有無

(4) 後継者の有無

後継者の有無	回答(件)	割合(%)
① いる	195	54.3%
② いない	73	20.3%
③ 未定	89	24.8%
未回答	2	0.6%
合計	359	

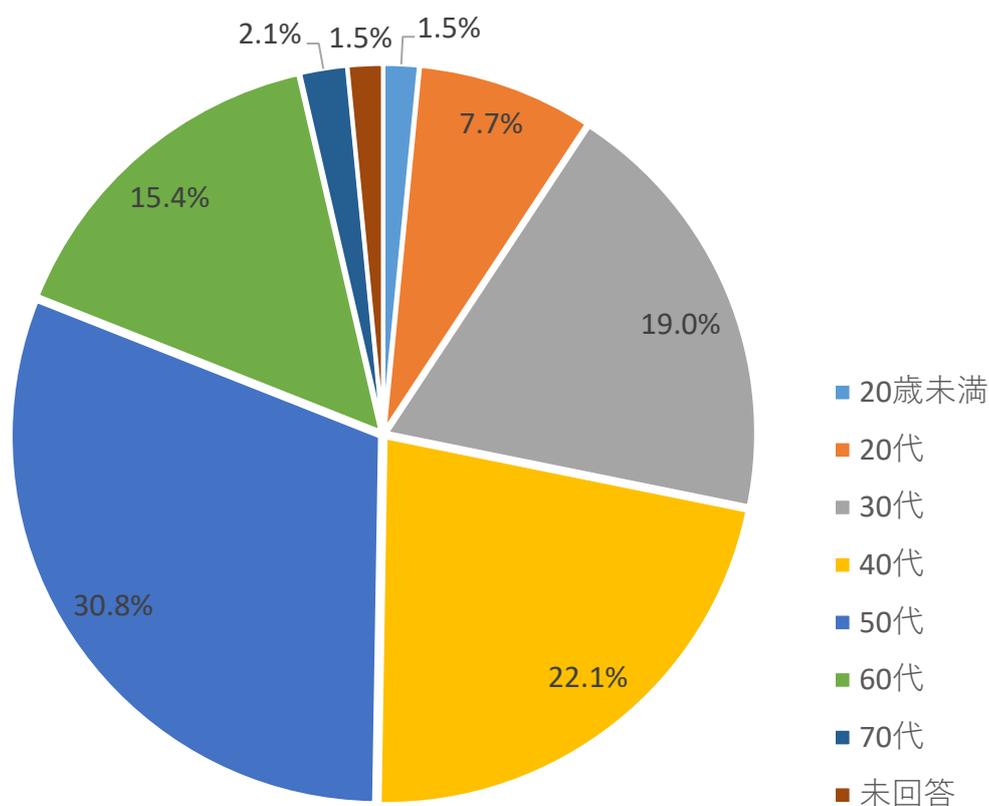
※①と③の複数回答者1名あり



後継者について「いる」が195件（54.3%）、「いない」が73件（20.3%）であった。また「未定」が89件（24.8%）であった。

(5) 後継者の年齢（後継者がいる場合）

年代	回答(件)	割合(%)
20歳未満	3	1.5%
20代	15	7.7%
30代	37	19.0%
40代	43	22.1%
50代	60	30.8%
60代	30	15.4%
70代	4	2.1%
未回答	3	1.5%
合計	195	

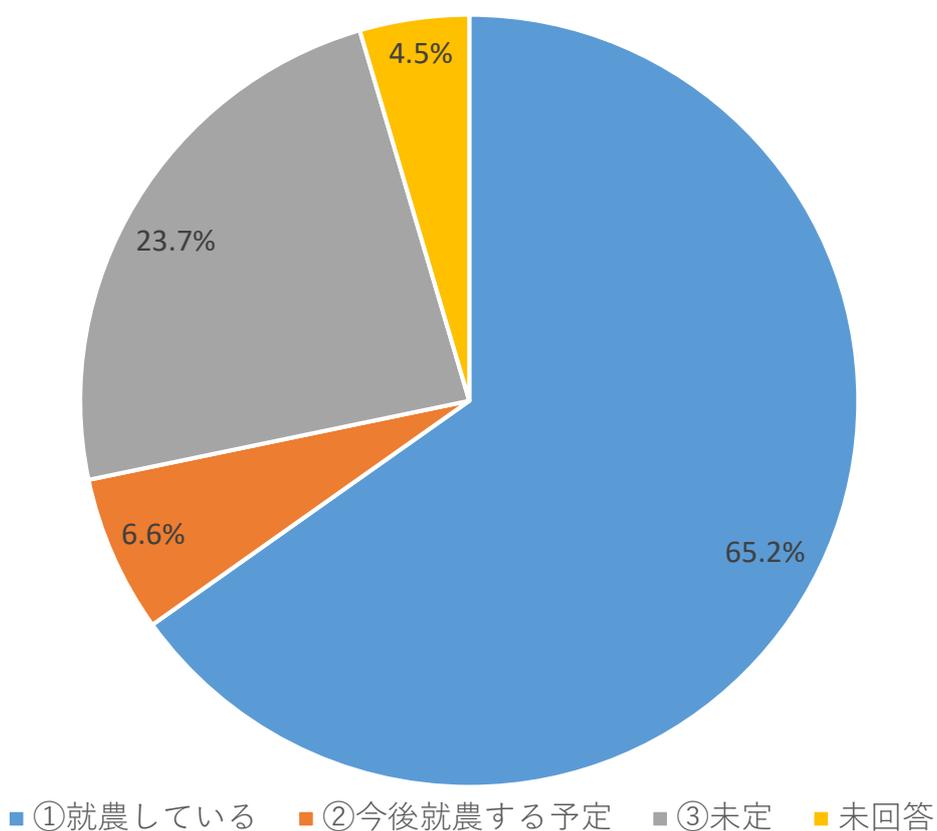


後継者の年齢は、50代が60件（30.8%）、40代が43件（22.1%）であり40代と50代で半数を超えている。続いて30代が37件（19.0%）、60代が30件（15.4%）であった。

(6) 後継者の就農状況（後継者がいる場合）

就農状況	回答(件)	割合(%)
① 就農している	129	65.2%
② 今後就農する予定	13	6.6%
③ 未定	47	23.7%
未回答	9	4.5%
合計	198	

※②と③の複数回答者3名あり



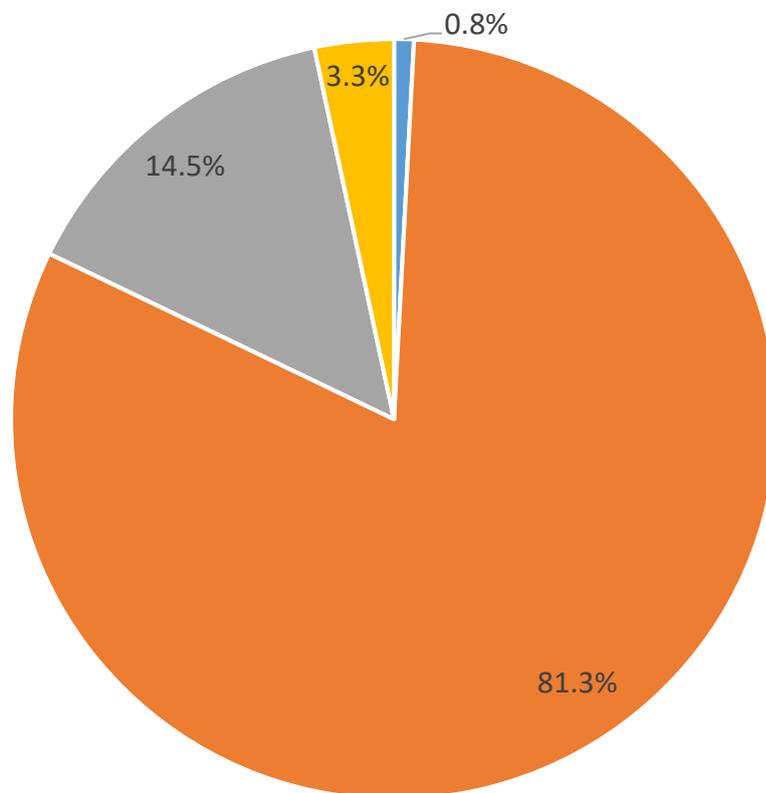
後継者の就農状況は、「就農している」が129件（65.2%）、「今後就農する予定」が13件（6.6%）であった。後継者のいる70%以上の農業者は後継者が既に就農しているか就農する予定である。

3 今後の農業経営

(7) 今後の農業経営の意向

農業経営の意向	回答(件)	割合(%)
① 農地を借りて規模を拡大していきたい	3	0.8%
② 今の農地面積を維持したい	292	81.3%
③ 農地面積を縮小したい	52	14.5%
未回答	12	3.3%
合計	359	

※②と③の複数回答者1名あり

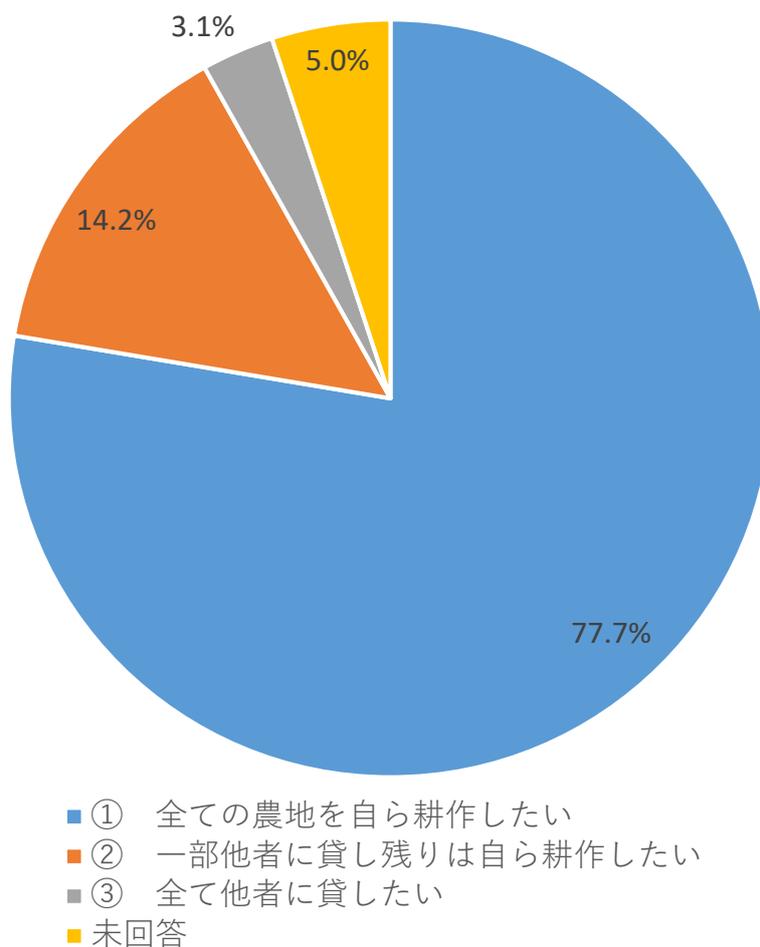


- ① 農地を借りて規模を拡大していきたい
- ② 今の農地面積を維持したい
- ③ 農地面積を縮小したい
- 未回答

今後の農業経営の意向は、「今の農地面積を維持したい」が最多の292件（81.3%）、「農地面積を縮小したい」が52件（14.5%）であった。「農地を借りて規模を拡大していきたい」とした回答は3件（0.8%）であった。

(8) 所有農地の運営

所有農地の運営	回答(件)	割合(%)
① 全ての農地を自ら耕作したい	278	77.7%
② 一部他者に貸し残りは自ら耕作したい	51	14.2%
③ 全て他者に貸したい	11	3.1%
未回答	18	5.0%
合計	358	

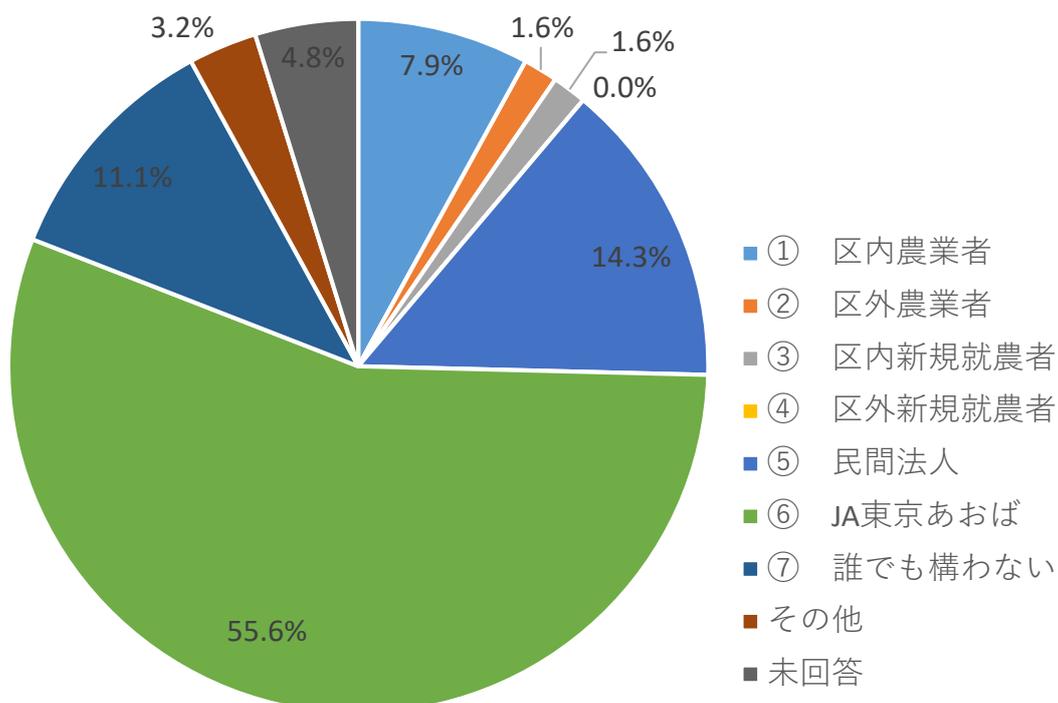


所有している農地の運営については、「全ての農地を自ら耕作したい」が最多の278件（77.7%）、次いで「一部他者に貸し残りは自ら耕作したい」が51件（14.2%）、「全て他者に貸したい」が11件（3.1%）であり、自ら耕作したいという意向が多い。

(9) 農地を貸したい相手先
(質問(8)で②、③と回答した方のみ対象)

相手先名	回答(件)	割合(%)
① 区内農業者	5	7.9%
② 区外農業者	1	1.6%
③ 区内新規就農者	1	1.6%
④ 区外新規就農者	0	0.0%
⑤ 民間法人	9	14.3%
⑥ JA東京あおば	35	55.6%
⑦ 誰でも構わない	7	11.1%
その他	2	3.2%
未回答	3	4.8%
合計	63	

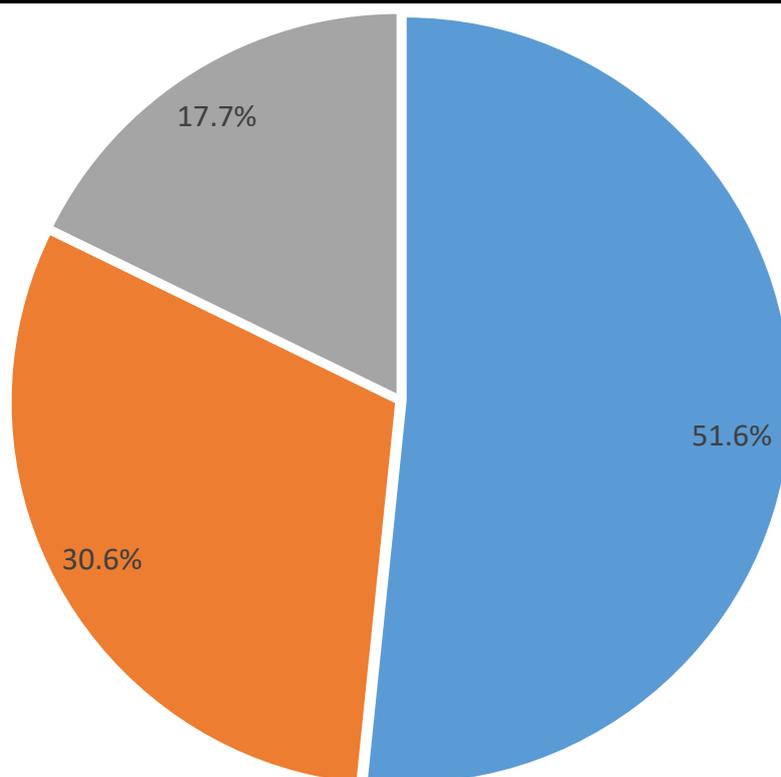
※⑤と⑥の複数回答者1名あり



農地を貸す意向のあった農業者が貸したい相手先は、「JA東京あおば」が最多の35件(55.6%)であった。次いで「民間法人」9件(14.3%)、「誰でも構わない」が7件(11.1%)であった。

(10) 農地の使用方法
(質問(8)で②、③と回答した方のみ対象)

農地の使用方法	回答(件)	割合(%)
① 貸した相手が自ら耕作する (体験農園含む)	32	51.6%
② 区画貸し農園を開設する	19	30.6%
未回答	11	17.7%
合計	62	

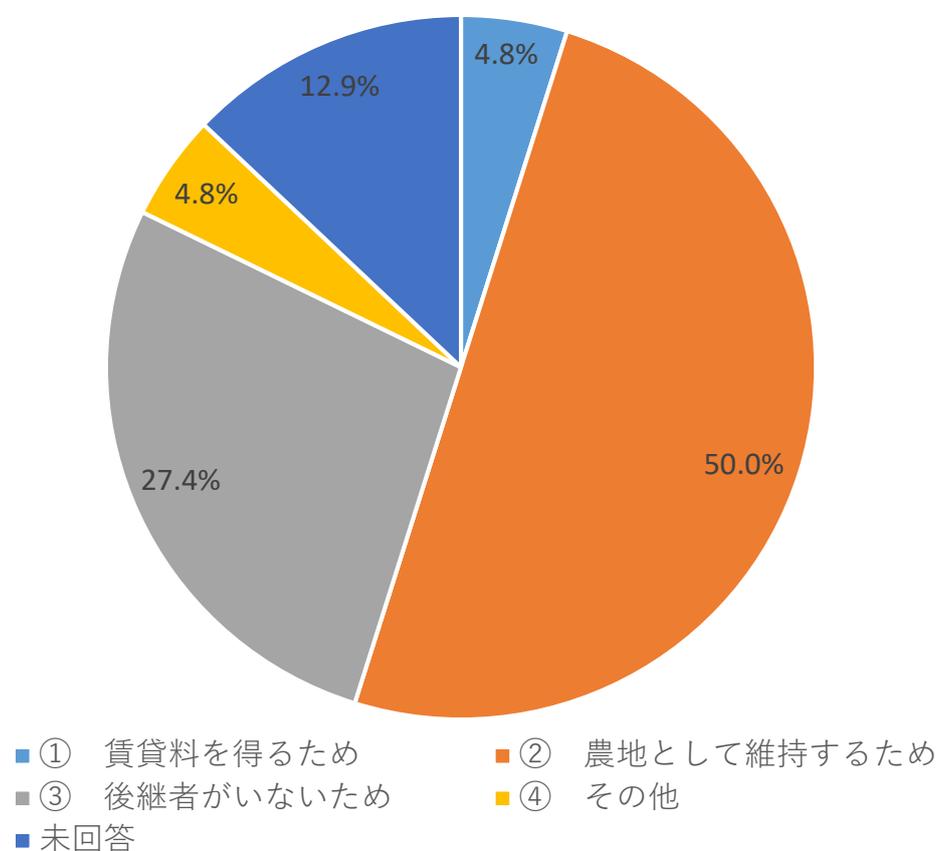


- ① 貸した相手が自ら耕作する ■ ② 区画貸し農園を開設する ■ 未回答
(体験農園含む)

農地を貸す意向のあった農業者が希望する農地の使用法は、「貸した相手が自ら耕作する(体験農園含む)」が32件(51.6%)、「区画貸し農園を開設する」が19件(30.6%)であった。

(11) 農地を貸したい理由
 (質問(8)で②、③と回答した方のみ対象)

理由	回答(件)	割合(%)
① 賃貸料を得るため	3	4.8%
② 農地として維持するため	31	50.0%
③ 後継者がいないため	17	27.4%
④ その他	3	4.8%
未回答	8	12.9%
合計	62	



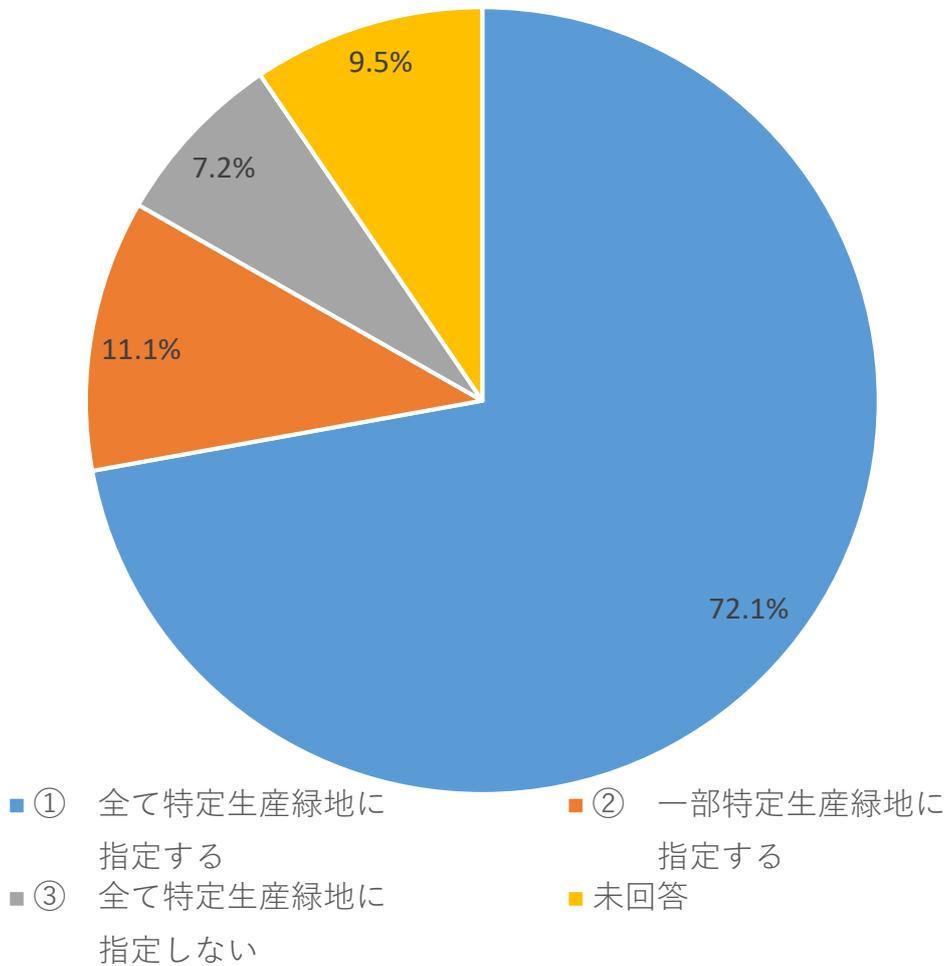
農地を貸す意向のあった農業者が農地を貸したい理由は、「農地として維持するため」が最多の31件(50.0%)、次いで「後継者がいないため」が17件(27.4%)、「賃貸料を得るため」が3件(4.8%)であった。

4 平成4年の指定から30年経過する生産緑地

(12) 生産緑地についての意向

生産緑地についての意向	回答(件)	割合(%)
① 全て特定生産緑地に指定する	259	72.1%
② <u>一部</u> 特定生産緑地に指定する	40	11.1%
③ 全て特定生産緑地に指定しない	26	7.2%
未回答	34	9.5%
合計	359	

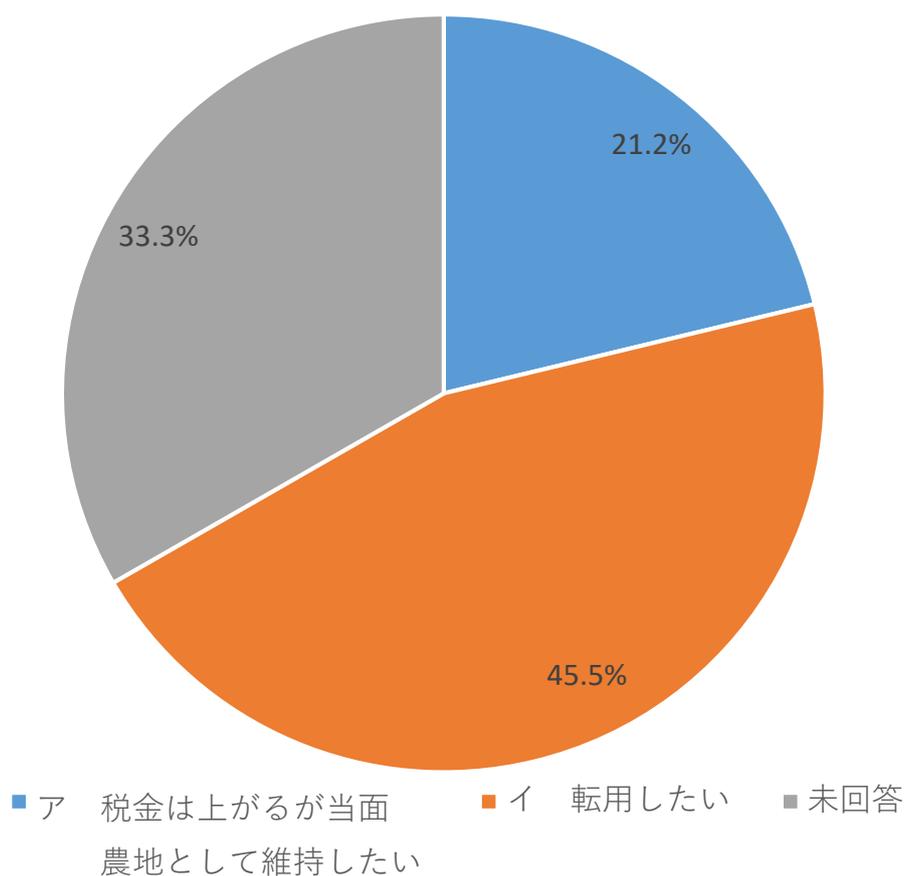
※①と②の複数回答者1名あり



指定されてから30年を経過する生産緑地について「全て特定生産緑地に指定する」が最多の259件（72.1%）であった。次いで「一部特定生産緑地に指定する」が40件（11.1%）、「全て特定生産緑地に指定しない」が26件（7.2%）であった。

(12) 指定しない農地についての意向
 (前質問の回答で②、③と回答した方のみ対象)

指定しない農地についての意向	回答(件)	割合(%)
ア) 税金は上がるが当面 農地として維持したい	14	21.2%
イ) 転用したい	30	45.5%
未回答	22	33.3%
合計	66	



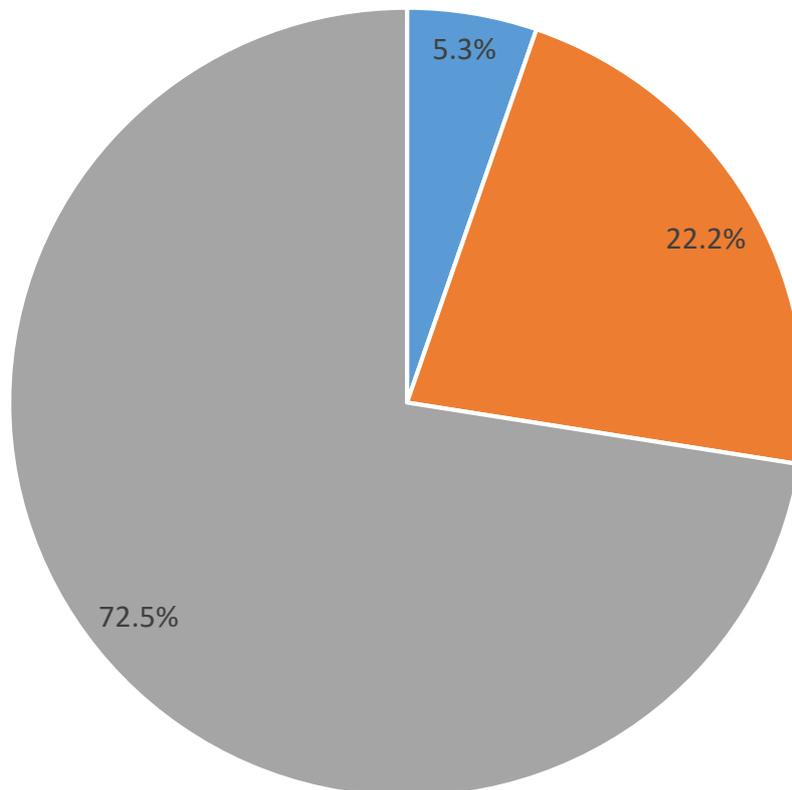
特定生産緑地に指定しない農地の意向は、「転用したい」が30件(45.5%)、「税金は上がるが当面農地として維持したい」が14件(21.2%)であった。

5 宅地化農地

(13) 宅地化農地を今後生産緑地に指定する意向 (100㎡以上の宅地化農地対象)

生産緑地指定についての意向	回答(件)	割合(%)
① 生産緑地に指定する	19	5.3%
② 生産緑地に指定しない	80	22.2%
未回答	261	72.5%
合計	360	

※①と②の複数回答者2名あり



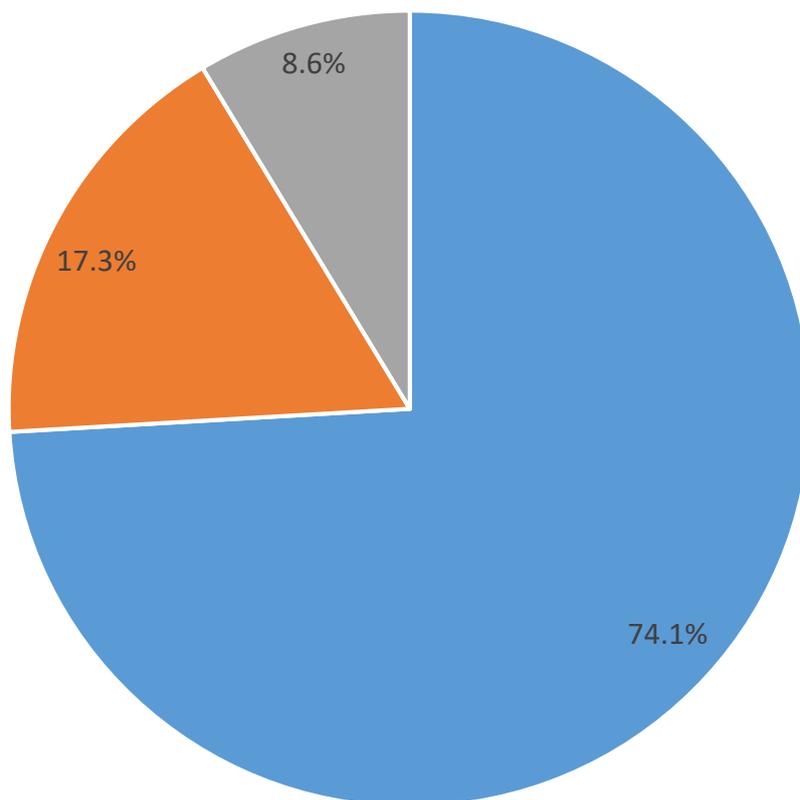
■ ① 生産緑地に指定する ■ ② 生産緑地に指定しない ■ 未回答

所有する100㎡以上の宅地化農地を「生産緑地に指定しない」が80件(22.2%)、「生産緑地に指定する」が19件(5.3%)であった。

(13) 宅地化農地についての意向
 (前質問で②と回答したからのみ対象)

宅地化農地についての意向	回答(件)	割合(%)
ア) 当面農地として維持したい	60	74.1%
イ) 転用したい	14	17.3%
未回答	7	8.6%
合計	81	

※アとイの複数回答者1名あり



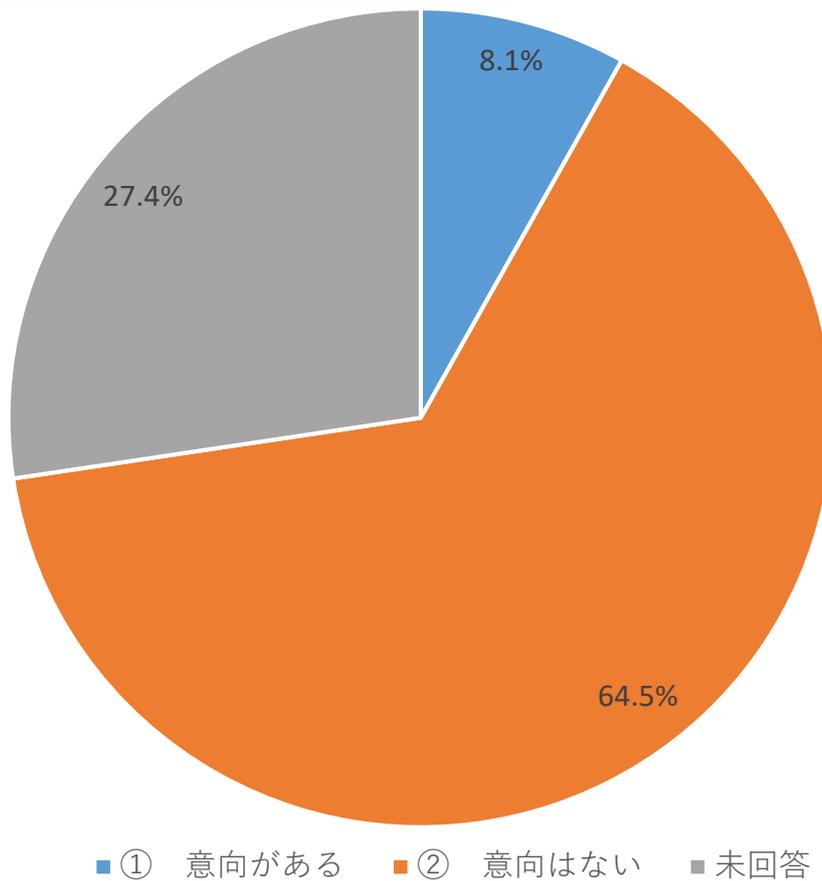
■ ア 当面農地として維持したい ■ イ 転用したい ■ 未回答

所有する100㎡以上の宅地化農地を生産緑地に指定しない場合、「当面農地として維持したい」が60件(74.1%)、「転用したい」が14件(17.3%)であった。

6 宅地の農地化

(14) 農地以外の土地（住宅敷地や駐車場）の農地への転用

転用の意向	回答(件)	割合(%)
① 意向がある	29	8.1%
② 意向はない	231	64.5%
未回答	98	27.4%
合計	358	



現況が農地以外の土地（住宅敷地や駐車場）を農地に転用する考えについて「意向はない」が231件（64.5%）、「意向がある」が29件（8.1%）であった。